



072

心の成長

ボプラ社

933

赤毛のアン

あかげのあん

訳 ルーシー・モード・モンゴメリ 原 村岡花子

まえむじょうじきやさわたしでほんそんざい
前向きで正直で、とても優しいアンは、私にとってお手本のような存在です。

マシュウとマリラは、農場の手伝いをさせるため孤児院から男の子を引き取ることに。ところがやってきたのは、おしゃべりでやせっぽち、緑色の瞳と赤毛で、そばかすだらけの11歳になつたばかりの女の子アン。でも、彼女はマシュウとマリラをひきつけ、幸せな気分にしてくれます。友人ダイアナとの友情、将来の伴りよとなる、宿敵ギルバートとの出会い。アンがどんどん成長していくところが、見どころです。／桜丘中 みかん

おんいじょよつめいさくやくほんよ
100年以上読み継がれている名作。いろいろな訳の本を読むのもおすすめです。

073

心の成長

小学館

9136

西の魔女が死んだ

にしのまじょがしんだ

著 梨木香歩

ほんすこくろよここあたなはなしごろげんき
この本は、タイトルは少し暗いけれど、読むと心がじんわり温かくなる話です。「心の元気がなくなったとき」この本を開いてみてください。西の魔女と主人公まいの一月あまりの生活が、その答への手がかりをくれるでしょう。また、自分の生き方を、未来を、決めるのは自分自身。ほかのだれでもない自分の人生だからこそ、自分の足で立ち上がり、歩き出さなければならない。流されず歩いていくことは困難かもしれないけれど、きっとそれは幸せに続していく。そんなことを教えてくれる物語です。／帽山女子学園中 飴玉

しょうかいほんしんちようしゃぶんこほんしつばん
紹介した本のほかに、新潮社から文庫本も出版されています。



074

こころ
心の成長しん ちょうしゃ
新潮社

9136

きよしこ

きよしこ

しげまつきよし
著 重松清

075

こころ
心の成長かど かわ しょてん
角川書店

9136

DIVE!!シリーズ

だいぶ!!しりーず

表紙:DIVE!!上

著 森絵都



076

こころ
心の成長

ポプラ社

9136

夏の階段

なつのかいだん

著 梨屋アリエ



077

こころ
心の成長

ボプラ社

933

秘密の花園

ひみつのなぞの

作 バーネット 絵 谷村まち子

五人の高校生が、悩みながらそれぞれの生き方を考えます。五人の思いや考えのすれ違いから、読む人も何かを学べると思います。

わがままな主人公メリは両親をなくし、おじさんにひきとられます。美しい自然に囲まれ、メリは成長していきます。

心の成長の選定委員からのメッセージは36ページに掲載。



DokiDoki

WakuWaku

It is interesting
to read books.



078

冒險・挑戦

ボプラ社

9136

「ぼくら」シリーズ

「ぼくら」しりーず

表紙:ぼくらの七日間戦争

著 宗田理

作者の
宗田理さんから
メッセージ…37ページ

大人のやり方に疑問や怒りをもった子ども達が、自分達だけの解放区を作り、大人達と七日間にも及ぶ戦争をくりひろげる物語です。主人公の中学生たちは、みんないきいきとしていて、たくましくて、読んでいるこっちの胸がすっとするほどう快です。そして読み終わった後には、私たちがどうあるべきなのか考えさせられる本です。あまり本を読まない人にもオススメです。／牧の池中 翔

「ぼくら」シリーズは、現在名古屋市在住の作家宗田理氏によって、約25年前に誕生。皆さんの先生の中にも中学時代に読んで、胸を躍らせた方がいるはずです。

079

冒險・挑戦

新潮社

953

十五少年漂流記

じゅうごしおりょうき

作 ジュール・ベルヌ 訳 波多野完治

たがいに助け合って生き抜くために様々な工夫をしたり、けんかをした少年が仲間と出ていくなど、見どころがたくさんです。

080

冒險・挑戦

講談社

9136

都会のトム&ソーヤシリーズ

まちのとむあんどそーやしりーず

表紙:都会のトム&ソーヤ①

著 はやみねかおる

むじんとうとうどうやま
奥に行くわけではなく、町中でおこる物語なので、だれでも冒険できるという夢を与えてくれます。



I like books!!

What is your favorite book?

心の成長

選定委員からの
メッセージ

「心の成長」というテーマで選ばれた本は、登場人物がみなさんの年齢に近い人が多く、共感することのできるものが多いのではないかと思います。ここに選ばれたもののほかに、『DIVE!!』の作者である森絵都さんの『リズム』や、『夏の階段』の作者である梨屋アリエさんの『空色の地図』なども候補にあがっていました。もし、紹介した本の中で気に入った本が見つかったら、同じ作者の別の本をぜひ読んでみてください。新書の楽しみ方が見つかるかもしれません。

『赤毛のアン』や『秘密の花園』は、長い間読み継がれてきた名作といわれる作品です。小学生のときに読んだという人でも、時間をおいてもう一度読んでみると、きっと違った発見があります。いろいろな訳の本を読み比べてみるのも楽しいです。みなさんのご両親も読まれたことがある本だと思います。ご家族で、本の感想を話し合ってみてはどうでしょうか。新しい見方が広がりますよ。

冒険・挑戦

選定委員からの
メッセージ

未知への好奇心、忍び寄る危機、困難の克服、互いに助け合う友情、絶体絶命からの大逆転、成功と成長など、冒険・挑戦の物語はいつの時代も若者を魅了してきました。皆さんのおすすめ三作品のうち、『都会のトム&ソーヤ』は平成の定番ですが、「ぼくら」シリーズは昭和から、『十五少年漂流記』は何と明治時代から、当時の若者の胸を躍らせ、今なお、皆さんを勇気づけてくれます。

中学生はいつの時代も大変です。学校、家族、友情、恋愛、将来…、無人島よりリアルな「日常」という冒険が待っています。皆さんがこの冒険で、試練に直面し、重大な選択をしなければならないとき、本の主人公たちを思い出してください。『十五少年漂流記』のゴードンたちなら、どのように決断するか、「ぼくら」シリーズの英治や相原はどう立ち向かうのか、「都会のトム&ソーヤ」の内人と創也はいかに切り抜けるのか。読書で魅力的な登場人物にたくさん出会ってください。彼らのように挑戦し、行動することで、自分が主人公の物語である「人生」をより豊かにしてください。